

令和2年「春のあんしんネット・新学期一斉行動」(2～5月)の取組方針

・目標

フィルタリングの普及促進に向けた反転攻勢

近年、SNS等を起因とする青少年の犯罪被害が増加しているなか、フィーチャーフォン時代と比べスマートフォンのフィルタリングの利用率、認知度は低下しており、このような傾向に歯止めをかけ、関係省庁、団体と連携しながら利用率、認知度を引き上げることを目標とする。

・取組

関係府省庁、都道府県・指定都市関係部局及びPTA等の関係団体と連携し、目標に向けて積極的に取り組む。

- 1 「高校生プラス」を始めとするフィルタリングのカスタマイズ機能の積極的広報
「高校生プラス」などのフィルタリングのカスタマイズ機能を利用すれば、有害情報等の利用を制限しつつLINE等のSNSを利用できる旨を積極的に広報する。
- 2 「フィルタリング」「ペアレンタルコントロール」の一括普及促進
保護者のニーズの変化を踏まえ、「フィルタリング」を始めとする「ペアレンタルコントロール」の一括普及促進を積極的に推進する。
- 3 低年齢層の子供の保護者に向けた普及啓発
親子でスマートフォンを共用している実態にかんがみ、当該スマートフォンにおけるフィルタリングの利用を推奨する。
- 4 SNS利用時の安全行動等の啓発
SNSを使用した犯罪被害が多発していることから、「ネットでしか知らない人」の誘いに「乗らない」、「会わない」、「悩まない(一人で抱え込まない)」こと等、安心・安全なインターネットの利用について、子供、保護者に啓発する。